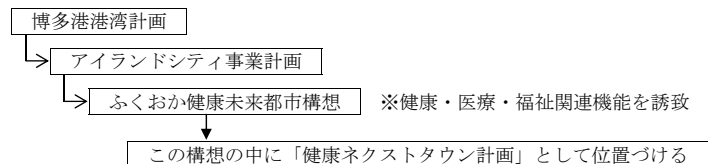


“超高齢社会対応型”健康ネクストタウン計画

1 はじめに

(1) 計画上の位置づけ

本計画の位置づけは以下のとおりであり、各計画との整合を十分図りつつ、本計画を策定する。



(2) 計画の目的

アイランドシティにおいては、「生活」と「産業」の両面から、生涯を通じてだれもが健康で生きいきと暮らすことができる「健康・医療・福祉のまちづくり」を目的とし、平成 15 年 6 月の構想の策定以来、医療・福祉関連施設等の誘致活動やソフト面でのまちづくりに取り組んできた。

一方、現在、国においては、誰もが活躍できる「一億総活躍社会」の実現に向けて、政府を挙げて取り組んでおり、地方においても超高齢社会への対応が求められている。

こうした状況の中で、アイランドシティにおける健康のまちづくりの総仕上げとして、アイランドシティに「高齢者向け住宅」、「多世代交流住宅」及び「それらをサポートするまち全体のコミュニティセンター機能」を一体的に整備し、これまでに立地した地域内の健康・医療・福祉施設や支援組織と連携することにより、高齢者がこの地域に元気なうちから居住し、生涯学習や社会活動への参加を通して、多世代と交流・共働しながら自らが活躍できるまち、“超高齢社会対応型”健康ネクストタウン（以下、「健康ネクストタウン」という。）の実現を目指し、本計画を策定するものである。

これにより、高齢者が活躍する新しい地域社会を実現し、医療・介護の負担を減らす地域システムが構築され、地域全体での社会活力の向上が可能となることにより、住民の健康寿命の延伸の実現に寄与する。

2 施策の方向性

(1) 基本的な考え方

アイランドシティには、すでに下記のように、「地域内連携支援施設」や「地域内連携支援組織・システム」が一定の進展を見せている。

「地域内連携支援施設」（産業面）

- 【既設】膝・股関節外科病院、高度・多機能型リハビリテーション病院、福岡市立こども病院、患者家族滞在施設、メディカルビル（かかりつけ薬局、健康情報拠点、保育園）、大規模都市公園（隣接）、特別養護老人ホーム（広域、地域密着）、認知症グループホーム、健康スパリゾート（温浴施設）
- 【予定】リハビリ・トレーニングセンター、福岡市総合体育館（仮称）、健康食材産直マーケット、各種診療所

「地域内連携支援組織・システム」（生活面）

- ・アイランドシティ生涯すこやかタウン協議会：健康・医療・福祉関連の立地事業者を中心とした健康のまちづくりを推進する団体
- ・UDCIC（アイランドシティ・アバンティ・センター）：産学官連携による先進的なまちづくりの企画・地域連携
- ・AABC（アジア・エイジング・ビジネスセンター）：超高齢社会対応型ビジネス開発 NPO 法人
- ・アイランドシティ照業ボランティア：介護施設等でのボランティア活動の推進
- ・福岡大学との包括連携協定：アイランドシティにおける認知症・介護予防プログラムの実証研究
- ・公民館、照業シニアクラブ

これら「地域内連携支援施設」や「地域内連携支援組織・システム」の機能をつなぎ、施設間連携・協力をコーディネートするため、生涯学習室、図書室、コンシェルジュ、託児所、コミュニティガーデン、高齢者カフェ・レストラン、スポーツジム、クリニック、訪問介護・看護ステーション等、住民の様々なサポート機能を持つ「コミュニティセンター機能」を誘致する。

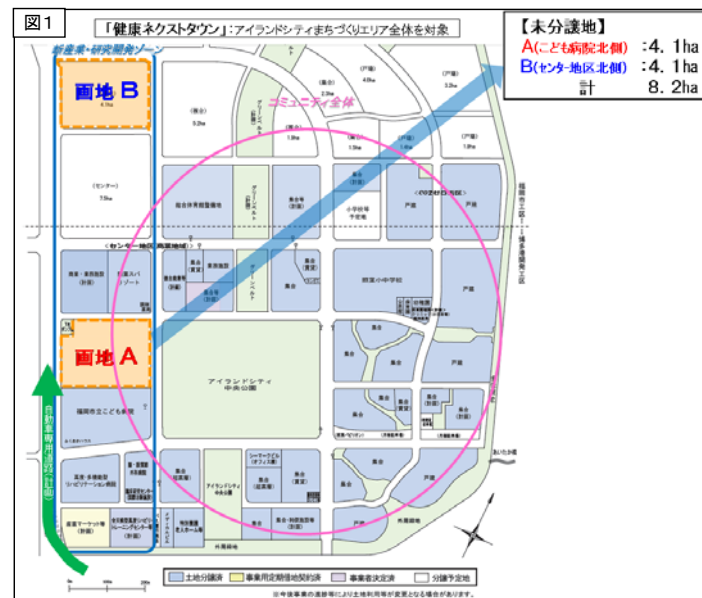
併せて、「高齢者向け住宅」、「多世代交流住宅」を一体的に誘致し、高齢者がこの健康ネクストタウンに元気なうちから居住し、様々な活動への参加や多世代交流・共働を通して、高齢者自身も活躍できるスキームを構築する。

さらに、「多世代交流住宅」には、高齢者、障がい者、子育て、夫婦、単身等の多世代、多様な世帯が交流しながら、それぞれのライフスタイルを実現できる住環境づくり、住み替え等を促進し、持続可能で活力あるコミュニティの形成を実現させる。

(2) 取組み方針

健康ネクストタウンの中核施設を目指す対象地は「図 1」の画地 A（こども病院北側）である。その画地 A は、「新産業研究開発ゾーン」と「まちのコミュニティ」が交わる中心部に位置し、周辺に地域内連携が可能な支援施設が集積するとともに、中央公園などの環境を生かせる区画であり、生活（健康で安心の居住環境）と産業が一体的に機能できることから、健康ネクストタウンのコミュニティ拠点に位置付け、「コミュニティセンター機能」と「高齢者向け住宅」、「多世代交流住宅」を一体的に整備する施設を同画地に誘致する。

また、画地 B を中心に、健康ネクストタウン全体で今後も誘致を目指す市民の健康寿命延伸をサポートする産業として、先進医療施設、人間ドック・健診施設、医薬品、医療機器開発拠点、医療人材育成機関（大学サテライト）、ホスピタルホテル（医療連携ホテル）などの健康・医療・福祉関連産業をターゲットとしつつ、センター地区に立地する広域集客施設とも連携可能な、知識創造型産業（IT、ロボット等）、環境・エネルギー関連産業（水素エネルギー、バイオテクノロジー等）等の新産業やそれらの創出を担うグローバルな人材育成機能に幅広くアプローチしていく。



(3) 計画の進行管理

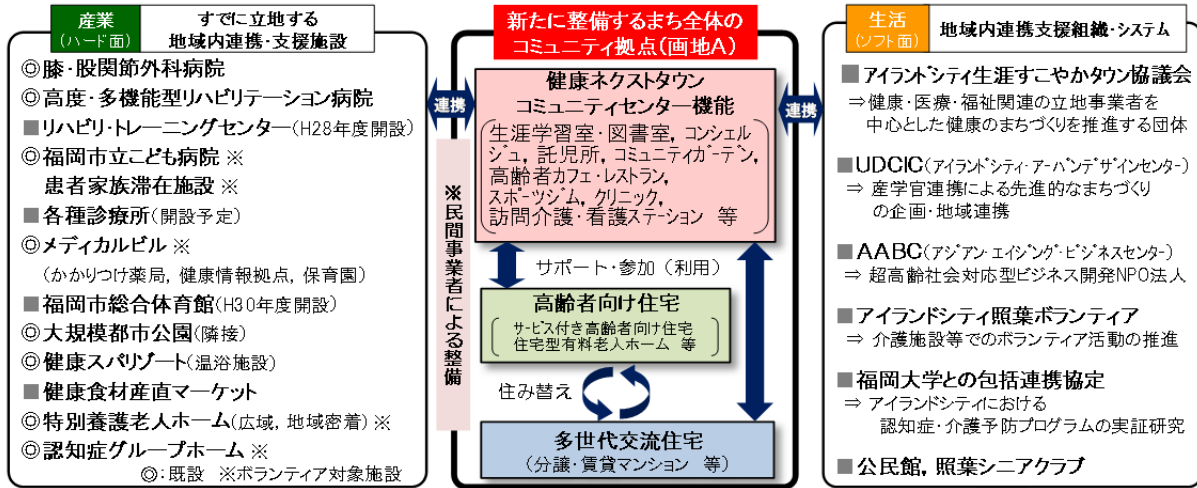
事業開始後は、外部の委員を中心とした第三者の評価委員会により定期的・継続的に事業を評価するとともに、ノウハウ等を蓄積し、市全域の「市民の健康寿命の延伸」の実現に寄与していくことにより、本市における健康と福祉のまちづくりを推進させる。

3 スケジュール（予定）

- 平成 27 年度 健康ネクストタウンコミュニティ拠点（画地 A）の土地分譲公募，事業予定者決定
- 平成 28～30 年度 画地 B の土地分譲公募，事業予定者決定，事業者による設計，工事
- 平成 31 年度～ 順次供用開始

“超高齢社会対応型”健康ネクストタウン計画

健康ネクストタウンに求めたい新たな提案内容のイメージ



市の創生総合戦略に位置づけ, 新しい産業モデルとして, 施策を推進

「ふくおか健康未来都市構想」のさらなる展開

第三者的評価委員会 継続的に事業を評価, ノウハウ等蓄積

健康ネクストタウンのアウトカムイメージ

